

## SERVICE COLUMN

VOL.3

### ONE-DAY CHECKは 印刷機健康診断です

ワンデーチェックは名称の通り、1日でお客様の印刷機の状態を診断、年間130件以上のご依頼をいただいている、KOMORI独自の点検・診断システムです。

実施に当たっては、お客様からのお申し込みによりスケジュールを決定、経験豊富なKOMORIの機械技術者と電気技術者のチームが訪問、ご担当者からのヒアリングの後、印刷機械の各部について、最大300項目(項目は機械により変動)の点検・診断を行います。

点検・診断結果はABC評価で行い、報告書としてまとめてご提出。特に対応が急がれるC評価の場合には、写真付きの報告書を作成し、具体的なアドバイスをいたします。

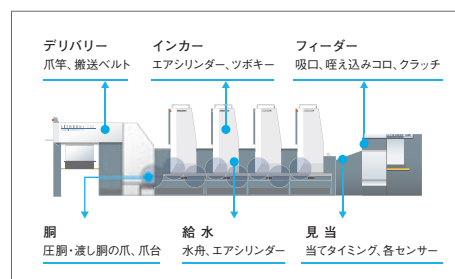
さらに、報告書を基に、短・中・長期的な展開を視野に入れた修繕計画や部品の交換時期など、適切な運用計画について、お客様と一緒に立案いたします。

#### 「ワンデーチェックの特長」

- 突発的な機械故障を未然に防ぎ、仕事の納期や業務に支障が出ることを回避します。
- 適切なメンテナンスにより、お客様のマシンライフをさらに延長します。
- ABC評価により、修理、交換等の優先順位の見える化を図り、経費計画を立てやすくします。

ぜひご活用ください。

お問い合わせ テクノサービスセンター  
TEL / 03-3624-7166



ワンデーチェック 枚葉機主なチェック項目



製造部印刷課  
高野 亮平 氏  
「調整やメンテナンスをしっかりとしないと機械に癖が出てしまいます。一定の品質を保つために、保守点検は非常に大切です」



製造部印刷課係長  
上田 健二 氏  
「ワンデーチェック時のアドバイスを受けて、メンテナンスでは、特にニップを重要視し、適切にしながら印刷しています」

た場合は、速やかに修理に取り掛かれるように、コミュニケーション

ンを図っている。  
このワンデーチェックによってもたらされる「安心感」を、福田部長は「何物にも代え難い」と表現する。さらに、突発事故で止まっていた時の費用・損失と、定期的な整備を始めてからの費用について尋ねると、「点検費用は『見える経費』だが、壊れてからの修理には『見えない経費』が結構あります。印刷機が止まると全ての予定が狂い、さまざまなことを計算できなくなります。感覚的に、突発で止まった場合の費用は、ワンデーチェックの費用の2倍です」とのこと。  
製造部の上田係長は「会社から予

防保全は保険として見てもらえており、年次点検をしてもらえるようになってから、重大な事故は減りました」と話す。  
ワンデーチェックで得る「安心」と「信頼」  
「ワンデーチェックで得られる安心感があるからこそ、これからも安心して仕事を請けることができます」と福田部長は話す。  
1956年の創業以来、60年間アルバムの納期に一度も遅れを出したことがないことが、顧客の信頼につながり、全国からの受注を続ける安達写真印刷の誇りとなっている。



リスロンG40と  
メンテナンスの記録

「ワンデーチェックの日には、直接質問したり、アドバイスを仰いだりできます。オペレーターにとって、大切な勉強の機会でもあるのです」と福田部長。また、消耗品も「K-サブライ」で統一しており、「良い商品を生むために必要なものを、KOMORIに管理してもらっている感覚です」と語る。

## 安達写真印刷株式会社 ONE-DAY CHECKの継続が支える 繁忙期100日間の安定稼働

プロにしかできない  
確な診断が必要



製造部部長  
福田 龍学 氏

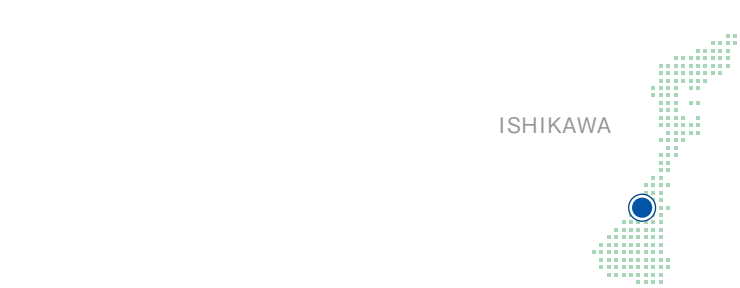
「ワンデーチェックを毎年実施することで、1年ごとの経過から、多くのことが見えてきます」

年間を通して卒業アルバムの印刷を請け負う安達写真印刷株式会社。納期がシビアな案件が、特に卒業シーズンに集中し、その印刷をH・U・V搭載リスロンG40(菊全判4色オフセット枚葉印刷機)とリスロンS40(菊全判4色オフセット枚葉印刷機)が担っている。2014年から継続して、この2台に対して、KOMORIの予防保全サービス「ONE-DAY CHECK(ワンデーチェック)」を活用。年1回の点検と診断がもたらす効果について、製造部の福田龍学部長、上田健二係長、高野亮平氏にお聞きした。

「仕事のピークが年に2回あり、特に卒業式用のアルバムを製作する1月～3月に作業が集中します。いつも自動組版などのソフトについて新しいものを考え、効率の良い仕事を追求しています」と、製造部の福田部長は、繁忙期のおよそ100日間は毎日24時間が勝負だと語る。  
2013年以前は、繁忙期に印刷機が止まるなど、トラブルに見舞われており、その都度、KOMORIのサービスに、急ぎで対応してもらっていた。

「機械が止まってしまうと、それ以降の工程、製本も発送も、全て止まることになってしまいます。当社のオペレーターは、1級印刷技能士の資格取得者ですが、エンジニアではなく、部品の摩耗や軋み音の見極めや異常への対応はできません。ある時、1胴の冷却システムから水漏れが発生、大変な思いをし費用も相当かかった。他の3胴も不安になり、KOMORIのエンジニアにチェックしてもらったら、『今すぐの修理の必要はありません。春に対応しましょう』と、異常の緊急度を判断してくれました。プロにしかできない、診断の的確さに感動しました。2014年以降は、毎年必ず、KOMORIに予防保全サービス『ONE-DAY CHECK(ワンデーチェック)』を頼んでいます」

安達写真印刷のワンデーチェックは、毎年10月に行われ、11月中旬に修理、繁忙期を万全の態勢で臨めるようにしている。  
「KOMORIの機械技術者と電気技術者が来て、1日で100以上の項目を点検・診断してくれ、各項目の状態によってA・B・Cの3ランクで評価が出ます。機械の停止の危険性があるなど、修理の緊急度の高いものから順に修理の予定を組んでいくため、毎年計画的な予算組みができます。ワンデーチェックを利用してからは、繁忙期に一度も機械が止まったことがなく、計画通りに仕事が進み、非常にありがたいです。一度機械が止まってしまうと、修理以上の損失も発生するので、結果的に安上がりになっています」



ISHIKAWA

所在地 / 石川県白山市横江町1139-1  
https://www.adachi-printing.co.jp/  
TEL / 076-274-8288

